



特集

図書館

その二冊から、 世界が広がる

あなたの図書館のイメージは、まだ「無料で本を借りる所」「学生が勉強する所」「読書の好きな人が行く所」ですか？

図書館は、豊富な郷土資料を含む約37万冊の蔵書、新聞・雑誌・ビデオなどの閲覧や視聴を始め、さまざまなサービスを行っている。自動車文庫「ぶつくま」の巡回、ほかの図書館との連携、商用データベースの閲覧や検索、絵本の読み聞かせ、映画などの上映会、いろいろな分野の講座・講演会の開催など、地域の情報拠点となっています。

希望する資料が市の図書館にない場合はほかの図書館から取り寄せたり、調べものをする場合は効率良く探すお手伝いをしたりと、あなたの「知りたい」に応えます。仕事や勉強、趣味、自分らしく暮らしていくために、市民の皆さんの「知の源泉」として、図書館をどんどんご利用ください。

孫と一緒に快適に過ごせます

落合 澄男さん（皿）



私は推理小説が好きで、図書館に来るとすぐに新刊が出ていないか確認します。また、趣味で水墨画をしているので、関係の書籍をよく借ります。

孫も小さい時から一緒に連れて来ます。特に夏休みなど長期の休みの時は、3日に1回は守りを兼ねて来ます。図書館は、子どもが本に親しめる工夫がたくさんあるうえ、静かで清潔、空調も良いので、時間がたつのを忘れて長居してしまいます。孫はここで見るビデオがお気に入り。良い作品がそろっているので、安心して見せることができます。